



あつぎつつじの丘公園
あゆコロちゃん（撮影：小林会員）

令和5年6月号 Vol. 230
(2023年)

発行：令和5年6月8日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

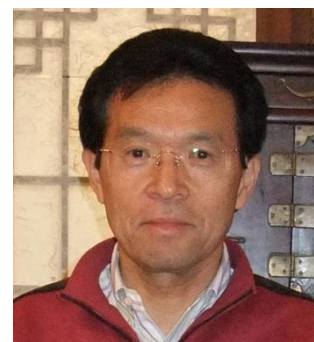
メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

《新会長からのご挨拶》

第十九回通常総会での役員選任で、第五代の会長に就任する事になりました田頭文昭でございます。この度の会長就任に関して大変光栄に思っておりますとともに、身に余る重責と感じております。私の持てる力を出し切る覚悟であつぎ観ボラの発展に尽くしてまいりたいと思っております。

会員全員で一致団結し、更なる会の設立目的の達成に向かって進みたいと考えておりますので、会員の皆様の一層のお力添えを頂きますよう宜しくお願い致します。



◎基本の方針として

- ①会の設立目的の再確認（地域の発展に寄与する）
- ②会員個々のノウハウを活かし、会としての総合力を発揮出来る体制の再構築
『会員全員が共通認識を持ち活動し、楽しい観ボラを目指す』

◎活動・行動のキーワードとして、CSEを考慮する

- ①(C)コミュニケーションの見直し ～情報共有化の徹底
- ②(S)スキルアップへの対応 ～ガイドレベルの平準化
- ③(E)エンジョイ観ボラ ～楽しくやりがいのある観ボラ活動

コロナ禍で活動が制限されてきましたが、5月より緩和され観ボラの活動もコロナ禍前の状態に戻りつつあると思います。観ボラ一丸となって、今まで以上の結果を出すことが出来る様に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

《春季入込観光客調査》

行事区分：行事支援

日 時：5月20日（土）9：00～16：00

場 所：厚木市内5拠点

参加者：10名

広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）

予想通り、駐車場はガラガラでした。小雨の為、鐘ヶ嶽、大山が見えません。ゴールデンウィークも終わり、小雨では来る人は少ないのでしょうか。ただし今日は、七沢の棚田を復活させる作業がありました。10名程のボランティアの方が朝早くから、出かけて行きました。棚田が七沢の魅力のひとつになればと祈ります。

少ない訪問者でしたが、ミツマタ鑑賞でこの駐車場を利用、再度来たという方、「アド街ック天国」を見て知り来た方もいました。テレビの効果はさすがです。いつもは盛況の「ますや」さんは、今日は閑そうでした。ハイカーも少なく「特記事項なし」といった入込み調査でした。晴れていなければ観光客は来ないという事を実感しました。



（石川 記）

七沢温泉（盛楽苑駐車場）

朝方は霧雨が降ったりやんだり、すっきりしない天気でしたが、雨に降られることもなく調査ができました。行楽日和とはいかず、観光客の数は少なく残念でした。それでも調査を開始すると見城にハイキングに行かれる若い女性のハイカーに道を尋ねられました。地図をお渡しし、ルートを説明。広沢寺温泉の駐車場でも我々の仲間が調査しているので、そこでも尋ねるとよいですよと伝えると「わかりました。そこで聞いてみます。」とおっしゃり、礼を言って行かれました。念のため、広沢寺温泉駐車場に調査を担当しているIさんに「女の方がそちらに行きますから見城を案内してください。」とメールしておきました。しばらくするとIさんから「来たよー」と笑顔マーク入りのメールが届き、一安心。



しばらくして、ジョギング姿の若い男性が七沢温泉方向から走ってきて、盛楽苑駐車場の前で立ち止まり案内板を見ていました。「どちらへ行かれますか。」と声をかけると、日向薬師から走ってきて、七沢森林公園へ行かれる人でした。森林公園への道に間違いがないことを知ると颯爽と走り去って行きました。この日は日差しがなく、絶好のジョギング日和かもしれません。

午後は、2人連れの女性が通りかかったので、声をかけると観光客だったので、アンケートお願いしました。東京と川崎から来られたそうで、温泉と食事を楽しみにしていられました。地図やパンフレット等は好評で、特にアンケートのお礼に差し上げたあゆコロちゃんのクリアファイルは大変気に入っていただきました。次に高齢のご夫婦が日帰り温泉をお探しだったので、パンフレットを差し上げてご案内しました。帰りにも立ち寄られ、無事日帰り温泉を満喫できたそうです。観光客の数は少なかったのですが、少しはお役に立てたかなと感じた1日でした。

（清田 邦男記）

七沢森林公園（出会いの広場）

テーブルやイスを設置してパンフレットを並べていると霧雨が少し降ってきました。雨天で2度も延期になり、今日も雨で途中で切り上げかと嫌な気分になりましたが幸い一瞬でやみました。

調査を開始しましたが、いつもは賑やかなバーベキュー広場に向かう坂道には人の姿はありませんでした。時折り付近の方が散歩しながらテーブルの前の歩道を通りました。伊勢原市から徒歩で来た70歳台の男性から森林公園内の「さくらの園」の場所を尋ねられ、広場にある大きな園内マップ版の前に案内し場所を教えました。その後同じ場所を又他の方に尋ねられました。翌日に「ななさわ緑のまつり」が行われる様でした。3人の女性グループに付近で見る場所を尋ねられて「県自然環境保全センター」を案内しました。



インド人らしい3~4人のグループがうろうろしているので、問い合わせるとバーベキュー広場を探していましたので教えました。「インドの方？」と尋ねるとやはりそうでした。ここは大人数のグループがよく入園しますが、この日は大人数グループは来ませんでした。又アンケートを取り易い場所ですが人出が少なく2枚取るのがやっとでした。

（寺田 記）

飯山温泉（中飯山自治会館）

2回延期となった観光客入込調査の実施です。場所は中飯山自治会館前。昨日からの雨で、まだ今朝はどんよりとした空模様であり、観光客が来るのか心配なスタートです。自治会館では土日に「絆会」が野菜の販売をするので、9時には野菜を買いに来た人はいましたが、観光客は通りません。やっと二人、すかさずアンケートをお願いする。海老名からのご夫婦でハイキングでした。



バスが到着し7名のグループ、白山から巡礼峠、七沢へ行くという横浜からのお客様。昨日の雨でヤマビルの注意案内をし、ヤマビルファイターで対策して出発。その後は東京から川崎からと数組は通りましたがお昼前に上り（長谷寺方面）の人の通りは無くなってしまいました。車は、9時から10時の上りは多かったです。殆どが左折しグランド方面への横浜、湘南ナンバーでした。これらの車の帰りは14時から15時となりました。

今日はお子様といっしょの家族はいませんでした。ランニングで通る人が数名。トレランコースを走ったのかはわかりませんでした。白山森林公園には走りに来る人も結構います。七沢、巡礼峠から下りの方がいればヤマビル等の状況を聞こうと思っていましたがハイキング帰りの人はいませんでした。今日はさびしい入込調査結果となりました。

（菅谷 記）

相模川三川合流地点（青少年広場）

5月7日、14日と2回の延期があり、今回の入込み調査となりました。朝方はちょっと怪しい空模様でしたが、10時頃からは青空も出てきて予定どおりの入込み調査が出

来ました。河川敷の河原には朝早くから、グランドシートを敷いたり、テントを張ったりする5~6人のグループがいて集会の準備をしていましたが、聞くところに依ると、関東在住のインドネシアのグループで、子供を持つ若いファミリーの集まりとの事でした。様子を見ていると、車の人、電車バスの人、ドンドン集まって来て。約60人の団体でした。女性はマフラーを被り、サリー着姿で、外人特有のいで立ちでした。踊りでも始まるのか？と様子を見ていると、楽しそうなバーベキューと歓談のみの様子でした。相方だった前会長の話では、こんなグループは初めてだとの事でした。



上の多目的広場では、市内の老人会の仲間約10人が、フランスで始まったという“ペタンク”というゲームを楽しんでいました。リーダーのお話では、毎週2回の集まりとの事、皆さん楽しそうで、活気がありました。その奥のテニスコートでは朝方は8人のメンバーでしたが、昼からは少年テニス学校らしいメンバーが集まり約50人のメンバーとなり、元気な掛け声が響いていました。私達は二人で分担して、河川敷をアンケートを戴きに歩きました。約10件のアンケートを貰い、お礼の“あゆころファイル”を全部消化しました。皆さん厚木市近場の若者達で、バーベキューが目的の人達でした。天気予報と土曜日という事もあって、お客さんの人数は約300名でいつもよりは少ないように思いました。(山下 武敏記)



会員投稿

《前方後円墳発見のニュース》

眞野 晃一

貴重な前方後円墳が厚木市内で発見されたとの記事を見て、5月20日発掘現場の国道246バイパス建設予定地及川の「かながわ考古学財団」現地見学会に参加しました。午前10時からの見学会に9時半頃には100人を超す人が集まっており、考古ファン大集合の人気でした。見学会は20人位のグループ毎に担当者の説明を受けながら前方後円墳の周囲を一周するコースでした。

古墳の大きさは墳丘の全長は37m、後円部の直径は21m、周溝（周りの溝）の幅を含めた主軸の全長は45mで、埴輪や葺石等は現在確認されていません。前方後円墳としてはそれ程大きくありませんが、荻野川の川沿いの小高い丘の上に造られています。眼下に荻野川が流れ、大山を一望する見晴らしのいい場所に造られていますので、古代荻野川流域を支配した豪族のリーダーのお墓かも知れません。古墳の築造年代はまだ特定されていませんが、周溝や隣接する方墳から出土の土器類は古墳時代前期~中期初頭位（3世紀後半~4世紀後半）で、約1750年~1650年前位のものだそうです。

これから古墳の墳丘部や後円部周辺の発掘調査になるそうですが、副葬品等の出土状況によっては古代厚木と近畿のヤマト政権との関係も解かるかも知れません。古墳と言えば

樹木に覆われて全体像がよく判りませんが、今回の現場は古墳表層の土層や草木は除去されて古代前方後円墳の全体の形状等が大変よく判りました。この古墳は調査が終われば埋め戻され道路の下になるそうです、古代の前方後円墳の実像を間近に見ることが出来る大変貴重な瞬間の発掘現場見学会でした。



①日本全国で古墳として登録されているのは約16万基位あり、そのうち前方後円墳は約5200基で岩手県から鹿児島県まで日本列島に広く分布しています。

②神奈川県では今回発見された前方後円墳を含め67基になり、厚木市では4基目になります。

③厚木市内には円墳や方墳等の古墳が多数あります。古代ロマンを訪ねて古墳散策するのも、近隣の博物館、資料館等を訪ねてみるのも良いのではないかと思います。

(写真は「かながわ考古学財団」資料より)

《ガイドと歩こう「品川宿」》

行事区分：訪問ガイド研修（かながわガイド協議会）

日 時：5月30日（火）9：30～12：45

場 所：高輪大木戸跡～泉岳寺～品川駅前記念碑～品川宿～荏原神社～品川神社

参加者：会員4名

「NPO 法人東海道ウォークガイドの会」担当による訪問ガイド研修に参加してきました。スタートの「高輪ゲートウェイ駅」は令和2年、山手線30番目の駅として開業した新駅です。デザインは、折り紙をモチーフ、木材を多く使い「和」を意識した駅で、国立競技場も設計した隈研吾氏によるものです。近くには、高輪大木戸跡があり「木戸」とは宿の出入口です。ここは、伊能忠敬が測量起点とした場所でもあります。

次は赤穂浪士で有名な泉岳寺に行きました。浅野内匠頭、夫人、大石内蔵助ら四十七士が祀られています。東禅寺は安政5年日英修好通商条約締結により、我が国初のイギリス公使館となりました。品川駅創業記念碑がありました。明治5年9月12日に日本で初めての鉄道は新橋―横浜間の開通と学んだと憶えていましたが、実は、新橋―品川間の工事遅れにより同年5月に仮営業として、品川から横浜まで走ったとの事でした。リニア中央新幹線もここ品川駅からスタートの予定で、工事が進んでいました。東京の南口として益々発展することでしょう。

いよいよ品川宿です。両側の商店街は古き良き時代を残しています。いまだに、草履を作っている老舗、海苔問屋、「土蔵相模」という妓楼跡、街道松、品川浦舟溜、利田神社など。鯨塚は寛政10年品川沖に16メートルの鯨が迷い込み捕まえられ、将軍徳川家斉が上覧した鯨の残骨の塚です。

荏原神社は「南の天王様」で南品川宿の総鎮守。海から拾い上げたという牛頭天王の神面を神輿に付け海上を渡御（とぎょ）する「カッパ祭り」が行われます。品川神社は「北の天王様」で北品川宿の総鎮守、徳川家康が先勝祈願成就の御礼として奉納した仮面「天下一嘗面（てんかひとなめのめん）」を神輿につけたお祭りがあります。



泉 岳 寺

今回は見どころ沢山のガイド研修でした。我々のグループは男子7名、ガイドは女性1人ですべての箇所を担当しました。小型拡声器、黄色のツアー旗を使用、スタッフ、受入体制、案内板、資料も豊富でした。ガイドはユーモアもあり、写真の資料は素晴らしく、かつ見せ方も上手で今後の参考になりました。

①品川駅は品川区ではなく、港区にある、これ如何に？

②北品川駅は品川駅の南にある、これ如何に？

③徳川家光と沢庵和尚の河岸問答

徳川家光「海近くして東(遠)海寺とはこれ如何に」

沢庵和尚「大軍を率いても将(小)軍と言うが如し」

(石川記)

最近の活動

日付	場所	内容	参加者
5月 13日	アミューあつぎ	定例会・勉強会	会員 22名
5月 20日	市内5拠点	入込観光客調査	会員 10名
5月 22日	大磯町・平塚市	下見「大磯湘南平・絶景ハイキング」	会員 5名
5月 30日	東京都 港区、品川区	訪問ガイド研修「ガイドと歩こう品川宿」	会員 4名
6月 3日	相川公民館	編集会議	会員 2名

編集後記

水生の食虫植物「ムジナモ」が石川県の農業用ため池で50年ぶりに発見された。国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストにある絶滅危惧種で、名付け親は牧野富太郎（1862～1957）。1890年に江戸川のほとりの用水路でこの水草を見つけ、形がムジナ（アナグマ）の尻尾に似ていることからムジナモと命名した。牧野富太郎は現在放送中のNHK連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルで、毎日一つの花の名前と写真が紹介されている。ネジバナ、ナンバンギセル、バイカオウレン、ジョウロウホトトギス、ササユリ、キツネノカミソリ、ドクダミ、カントウタンポポ、ハマダイコン……。9月末まで毎日何がでてくるのか楽しみです。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘